

ISEF2018 アメリカ数学会賞 驚きと喜びの受賞



©NPO法人日本サイエンスサービス ▲他校の受賞者(右端)とともに賞状を掲げる3人

アメリカで行われたインテル国際学生科学技術フェア(ISEF)において特別賞を受賞した、S部数学班員3人に多くの賛辞が寄せられている。惜しくも部門賞の受賞はならなかったが、アメリカ数学会から高い評価を得たことは、大いに誇ることができるだろう。

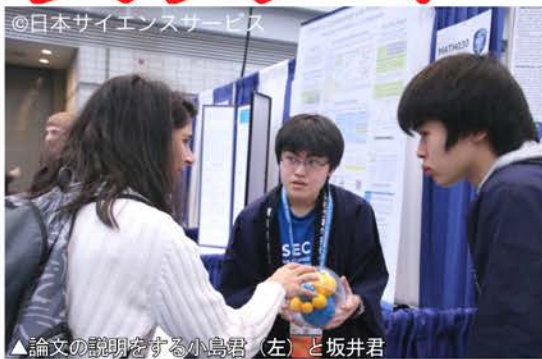


速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

賞賛の声、続々



▲論文の説明をする小島君(左)と坂井君

▼檀原義幸校長先生
世界大会でこのような実績を残してくれたことは、驚きと同時に、非常に喜ばしいことだ。事前の発表を見せてもらったが、きれ

◎受賞者のコメント
▼横濱湧太君(3-1-1)
うれしかった。驚いた。
▼坂井龍征君(3-1-1)
名前を呼ばれた瞬間は訳がわからなかった。びっくりした。
▼小島颯太君(3-1-1)
驚くと同時に、うれしく感じた。

受賞者や学校関係者は以下のようにコメントしている。

▼SSH推進室長・濱川先生
今まで彼らがやってきたことが、すばらしい結果に結びついてうれしい。良い刺激を受けて帰ってきてほしいと思う。また先輩の業績を受け継ぐ後輩が現れてくれることを期待しています。

いな定理だという印象を持った。英語を駆使し、着想の豊かな高校生らしい探究心を持って研究を深めてくれて、本校の目指す学びを体現してくれたと思う。S部をはじめ、本校生みんなが続く勇気を与えるような活躍であった。



▲日本代表チームのメンバー

©NPO法人日本サイエンスサービス